

アビリティ訓練を受講し、企業で活躍する修了生の声

南工株式会社 広島工場（広島市佐伯区）Uさん Mさん Oさん

● 現在担当している仕事内容は？

プレス金型における2次元形状加工データの作成を担当しています。（AutoCAD とナスカ使用）

設計チームが作成した金型図面をもとに、現場側で使用する加工データと加工指示図面を作成しています。金型図面と合わせて現場側での加工がスムーズに行われるようなデータ作成を心がけています。



平成 17 年 3 月修了 Uさん

● 広島センターで訓練を受講されているとき、考えていたやりたい仕事は何でしたか？

入所当時やりたい仕事として機械加工か CAD か漠然としていましたが、講義を受ける中で NC プログラムや CAM に興味が湧きました。金型関係の会社を数社受けた中、南工(株)に決まり今日に至っています。

● 入社当初はどのような事をしていましたか？

まずは図面を理解する事でした。現場で実物を確認しながら実践形式で覚えていきました。モノを作るための図面であるという事をいつも言われます。

● 現在担当している仕事内容は？

Uさんと同じ加工データ作成業務を担当しています。



平成 18 年 6 月修了 Mさん

● 入社当初はどのような事をしていましたか？

初め半月くらいはプレス金型図面の解読をしていました。部品表を見て、カタログから標準は何が使われているか等を調べることで金型の構造を勉強しました。

プレス金型の図面は一見複雑ですが、理解する上で広島センターでの訓練で習得した製図の基礎が役に立っています。

〇さんは南工(株)の関連会社「(株)トライエイト」より研修のために石内工場へ出向しているとの事でした。

● 現在担当している仕事内容は？

金型部品の3Dモデルデータ作成（3DCADはThinkDesingを使用）3Dモデルは解析やシミュレーション等に使用されます。



平成18年6月修了 〇さん

● 後輩訓練生へのアドバイスを頂きました。

広島センターで勉強、就職活動している間に仕事の適性まで“全て”を見極めるのは難しいです。どの会社でも入社してみないと自分に合っているかどうか分からないです。そこで続けられるかどうかは「やる気」があるかどうかですね。

「南工(株)広島工場」の加工現場です。

マシニングセンタにより金型加工が行われています。

Uさんらが作成した加工図、加工データが金型構造部の機械加工に使われています。

南工(株)において加工データ作成チームは設計と現場の橋渡しをする重要な役割をしています。

加工現場の無人化を進めており、有人の作業であっても効率よく加工できるように努めています。

